

第六号の二書式（第二十条の三関係）（A4）

建築士法第23条の6の規定による設計等の業務に関する報告書

（第一面）

建築士法第23条の6の規定により、設計等の業務に関する報告書を提出します。この報告書の記載事項は事実に相違ありません。

愛知県知事 殿

提出日または郵送日 令和 年 月 日

一級

二級 建築士事務所 愛知県知事登録（ ）第 号
木造

所在地

電話

建築士事務所の名称

建築士事務所の開設者の氏名又は名称 ※

事業年度 令和 年 月 日～令和 年 月 日

※ 建築士事務所の開設者が法人である場合、法人名に加えて法人の代表者の役職・氏名も併せて記載し、**法人印および代表者印を押印**すること。

(第二面)

建築士事務所の業務の実績

[記入注意]

- 当該事業年度における直近のものから順次記入して下さい。
 - 年度をまたぐ物件は、期間の期末を「継続中」として下さい。
 - 昨年度から継続して行った物件も報告が必要です。
 - 報告実績がない場合は「実績なし」と記入して下さい。

[記入例]

愛知県 共同住宅 鉄筋コンクリート造五階建 設計及び
令和 5. 2.1~
延 700 平方メートル 工事監理 6.10.3

(第三面)

所属建築士名簿

決算日 令和 年 月 日現在

氏名	一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別及び管理建築士である場合にあっては、その旨を併記	登録番号	登録を受けた都道府県名 (二級建築士又は木造建築士の場合のみ)	建築士法第22条の2第1号から第3号までに定める講習(一級/二級/木造建築士定期講習)のうち直近のものを受けた年月日	構造設計一級建築士又は設備設計一級建築士である場合にあっては、その旨	構造設計一級建築士証又は設備設計一級建築士証の交付番号	建築士法第22条の2第4号及び第5号までに定める講習(構造設計一級および設備設計一級建築士定期講習)のうちそれぞれ直近のものを受けた年月日
計					一級建築士 二級建築士 木造建築士 構造設計一級建築士 設備設計一級建築士	名 名 名 名 名	

(第四面)

所属建築士の業務の実績

[記入注意]

- 1 当該事業年度における直近のものから順次記入して下さい。
 - 2 年度をまたぐ物件は、期間の期末を「継続中」として下さい。
 - 3 昨年度から継続して行った物件も報告が必要です。
 - 4 報告実績がない場合は「実績なし」と記入して下さい。ただし、所属建築士が一名の場合、第四面は提出不要です。

[記入例]

愛知太郎 愛知県 共同住宅 鉄筋コンクリート造五階建 延700平方メートル 設計及び工事監理 令和5.2.1~6.10.3

(第五面)

管理建築士による意見の概要

[記入注意]

- 1 管理建築士の氏名を記入し、当該事業年度における直近のものから順次記入して下さい。
 - 2 開設者に対して述べられた意見がなかった場合でも、管理建築士名を記入の上、意見の概要欄に「該当なし」と記入し提出してください。
 - 3 開設者と管理建築士が同一の場合、第五面は提出不要です。